▼カルビスケン錠　［内］＜2025.3 販売中止＞

【重要度】★　【一般製剤名】ピンドロール（U）　pindolol　【分類】高血圧･狭心症･不整脈治療剤［β遮断剤］
【単位】▼5mg/錠
【常用量】5～15mg/日
【用法】分 3
【透析患者への投与方法】尿中未変化体排泄率が 50%程度であるため 5～10mg/日に減量（5）【その他の報告】減量の必要なし（3,12）
【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし（3,10）【その他の報告】減量の必要なし（12）Ccr＜10mL/min：5～10mg/日（5）
【特徴】β1 非選択性で ISA を有するβ遮断剤．本態性高血圧症(軽症～中等症)，狭心症，洞性頻脈に適用.
【主な副作用･毒性】心不全の誘発・増悪、喘息症状の誘発・悪化、発疹、めまい、ふらつき、眠気、振戦、消化器症状、心窩部不快感、口渇、動悸、胸痛、浮腫、低渇圧、徐脈、脱力感、手足のしびれ感など
【モニターすべき項目】血算、血糖値（DM 患者）、心機能、肝機能、腎機能、血圧、ECG、心拍数
【吸収】消化管で 90%以上，食事摂取により吸収量や吸収率が上昇（1,11）90～100%（U）
【F】75%（1）70～90%（15）腎不全患者では F が低下する（Evans WE, ed: Applied Pharmacokinetics 3rd ed p8-1-8-49）
【tmax】約 80min［空腹時］（1,11）1～2hr（U）
【代謝】肝でグルクロン酸抱合や硫酸抱合される．代謝物の活性はない（1）
【排泄】尿中回収率約 80%（1）尿中未変化体排泄率 36.1%（1）40%（11,12,U）54%（13）40～54%（15）【CL】425.8mL/min（1）6.2mL/min/kg（15）
【t1/2】3.65hr（1）2.5～4hr（11,12）3～4hr（15）【腎不全患者の t1/2】3～4hr（12）
【蛋白結合率】57.2%（1）40%（U）50～70%［うち 30%がα-酸性糖蛋白に結合］（11）50%（12）
【Vd】142L/man（1）1.2～2.5L/kg（15）1.2L/kg（12）【腎不全患者の Vd】1.10L/kg（Evans WE, ed: Applied Pharmacokinetics 3rd ed p8-1-8-49）
【MW】248.33
【透析性】除去率 2%（15）資料なし（1,U）
【TDM のポイント】有効血中濃度域 0.05～0.15μg/mL（15）TDM の対象にならない【O/W 分配係数】0.41（11）0.82（1）【pKa】9.3（1）
【効果発現時間】45min～1hr（1）
【更新日】20240627

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。